

地区自治会連合会数 22
自治会数 593
加入世帯数 179,231 世帯
班(組)数 11,892

H.25. 4. 1 現在

ホームページ <http://www.sagamihara-jichiren.jp/>

相模原市自治会連合会 検索

自治会活動功労者感謝状贈呈式が行われました

平成25年度 相模原市自治会活動功労者感謝状贈呈式



おめでとうございます。 市長から感謝状が贈呈されました。

『自治会活動功労者感謝状贈呈式』が、平成26年2月1日(土)、相模原市民会館で行われました。この表彰は、長年にわたり自治会活動に従事され、心のかよいあう明るいまちづくりの推進、地域の福祉向上に寄与された方に、相模原市がそのご尽力に対して感謝の意を表すものです。22地区の各自治会連合会から推薦された69名の方が感謝状の贈呈を受けました。受賞者は、下記の方々です。

市長あいさつ

感謝状を贈呈させていただきます69名の皆様方におかれましては、長年にわたり自治会活動に取り組まれ、市政の進展のためにご尽力賜りました。誠にありがとうございます。

受賞者をはじめ各自治会の皆様方におかれましては、防災、防犯、地域福祉、環境美化、地域コミュニティの活性化など地域のまちづくりのために中心的な役割を担っていただいております。お互いに支えあい、助け合い、人と人との絆を大切にする活動は、次代を担う子どもたちの思いやりを育み、未来に向けたあたたかいふるさとづくりにつながるものと考えています。

今後もこれまでに培われた経験を存分に発揮していただき、市民一人ひとりが日々の生活に希望を持ち、心豊かな生活が送られるよう自治会活動

などの地域コミュニティの輪を広げる取組みにご尽力賜りますようお願い申し上げます。

本市では、昨年8月に市自治会連合会との協働による、市民主体のまちづくりをより一層推進するために、「連携基本協定」を締結しました。さらに、11月には、市自治会連合会と市の協働による自治会加入促進重点プロジェクトの一環として、不動産関係団体と「自治会への加入促進に関する協定」を締結するなど、自治会のさらなる活性化に向け、新たな一歩を踏み出したところです。

市民の皆様に住んでいてよかった、これからも住み続けたいと実感をしていただけるような住みよい相模原を築いてまいりたいと思っています。引き続き、ご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(市長あいさつ抜粋)



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 齋藤 幸恵 | 志村 徹 | 小田 和宏 | 大坪 幸成 | 大野中 晴美 | 大塚 勝彦 | 渡邊 恭一 | 石田 忠一 | 平本 忠一 | 渡邊 喜雄 | 矢口 芳昭 | 田中 成吉 | 高橋 作治 | 大野北 良平 | 中村 増三 | 小倉 利信 | 佐藤 幸雄 | 原 壽弘 | 小泉 均 | 橋本 正和 | 石原 英夫 | 大塚 猛 | 坂元 賢司 | 成川 賢司 | 菅野 賢司 | 星が丘 久子 | 水谷 久子 | 牛尾 豊文 | 金丸 敏男 | 大沼 敏男 | 小林 満 | 中 央 祐司 | 茅 祐司 | 長谷川 哲雄 | 青木 利明 | 横山 進 | 堀木 進 | 小山 征一 | 山本 正巳 | 清 新 正巳 | 原田 憲一 | 小山 憲一 | |
| 野崎 隆 | 佐藤 治男 | 大河原 頼忠 | 江藤 雅文 | 相模湖 哲夫 | 有田 孟 | 吉田 享助 | 脇本 登二 | 小澤 研二 | 小澤 敏二 | 矢口 敏二 | 津久井 好明 | 山下 利磨 | 小泉 好明 | 城山 利磨 | 奥野 智 | 富塚 政男 | 佐々木 久美 | 相武台 俊一 | 山口 俊一 | 高山 雅道 | 山後 辰夫 | 溝呂木 敏昭 | 佐藤 晃 | 中村 晃 | 堀越 義男 | 相模台 正秀 | 木元 正秀 | 大場 信之 | 石原 武 | 長谷川 秀行 | 井上 元義 | 麻 溝 弘行 | 小野 弘行 | 上 溝 勝男 | 金井 勝男 | 田名 勝男 | 長谷川 妙子 | 関口 宏治 | 山田 宏治 | 坂本 博彦 | 山田 潤 | 大野南 潤 |

自治会活動功労者
感謝状受賞者
(敬称略)

自治会加入促進協定を締結

「相模原市自治会加入推進協議会」に参画している不動産関係3団体と、自治会への加入促進に係るより実効性の高い方策を内容とした協定を市自治会連合会と市との間で締結しました。

主な協定内容

- 不動産関係団体
加盟店の店頭における自治会加入促進用ポスター等の掲示
住宅の販売、仲介、賃貸等を行う場合における入居者への自治会加入促進用チラシの配布等
- 市自治会連合会
自治会加入促進用の啓発物品等の提供など
- 相模原市
不動産関係団体が行う自治会加入促進活動の円滑化など



自治会への加入促進に関する協定締結式

相模不動産団体三支部連絡協議会・相模原市自治会連合会・相模原市



協定締結式の様子



推進組織の発足

10月17日に自治会加入促進の具体的な取組みを検討する「相模原市自治会加入推進協議会」を設立しました。

推進組織構成団体

- 相模原市自治会連合会 ○神奈川県宅地建物取引業協会 相模北支部 ○神奈川県宅地建物取引業協会 相模南支部
- 全日本不動産協会 相模原支部 ○相模原青年会議所 ○相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会
- 相模原・町田大学地域コンソーシアム ○相模原市

22地区でまちづくり懇談会を開催!!

自治会が中心となるまちづくり会議の構成員と相模原市が意見交換や情報を共有し、地区のまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進するために「地区まちづくり懇談会」が、各地区で開催され、活発な議論が交わされました。

地区	議題名	地区	議題名	地区	議題名
大 沢	1 大規模災害に対応した体制の整備や対策について ・災害時要援護者の支援について ・消防団員の確保について 2 大沢地区の子育て環境の整備について ・子育てに悩むお母さんなどへの支援について ・児童館、子どもセンター等の整備について	城 山	1 地域コミュニティ力について ・災害に強い地域コミュニティづくり ・地域の担い手の発掘と育成	藤 野	1 公共交通機関に頼らない「地域力」や「地域の絆」を活用した高齢者のための交通手段について ・運行母体が見つからない、事業運営経費を賄えない 2 「交流人口」及び「定住人口」の増加対策について ・屋外広告物や案内板等の景観整備について ・移住者促進対策について
東 林	1 自治会加入促進策について ・自治会の重要性に対する市の認識と、これまでの取組みについて ・東林地区の取組みの現状と新たな加入促進策について 2 高齢者等の地域での支援策について ・日常生活における支援策について ・災害時における支援策について	相 模 台	1 地域における市民協働の推進に向けた市の協力について ・地域における市民協働の分野の整理について ・自治会負担の軽減について 2 地域団体や地域活動における担い手の育成について ・新たな担い手の獲得や育成について ・自治会活動・地域活動を条件とした学生への団地家賃の補助について 3 相模台地区の防犯力向上について ・住民が取るべき防犯対策と市の支援について ・空き家対策について	清 新	1 自治会加入率の向上について ・自治会加入率の低下がもたらす諸問題について ・自治会加入促進策について 2 災害時要援護者支援について ・支援体制（組織）づくりについて ・市の災害時要援護者避難支援事業について
大 野 中	1 防災・減災対策について ・井戸の活用促進について ・防災教育の普及と中学生の支援について ・公共の広場への防災倉庫や防火水槽の設置について 2 災害時の体制づくり ・災害時要援護者避難支援について ・地震火災に伴う初期消火活動について ・企業や店舗の協力による災害時支援協定について 3 木もれびの森の管理及び活用策について ・維持管理運営体制の基本的な考え方について ・活用策について	田 名	1 憩いの場となる公園等の整備について ・公園の整備について 2 田名地区におけるまちづくりと小田急多摩線の早期延伸等公共交通整備について ・交通政策審議会に向けた対応 ・さがみ縦貫道開通に伴う道路交通への影響について	横 山	1 地域の活性化について ・自治会加入諸問題について 2 高齢者の見守り支援について ・活動支援について
相 模 湖	1 健康寿命の延伸について ・相模湖地区高齢者の健康問題について ・地域の実情に合った健康づくり及び介護予防の充実について	新 磯	1 コミュニティ豊かな地域づくり ・地域コミュニティの活性化について ・歴史・文化の継承と観光資源による地域の活性化について ・若い世代が活躍する地域づくりについて	中 央	1 高齢者の見守り・子育て環境 ・高齢者の見守りの促進 ・子育て環境の改善 2 地域活性化 ・自治会加入促進 ・西門通り商店街及び市役所前大通りの整備 3 地域防災 ・自主防災組織の活発化
津 久 井	1 津久井地区のまちづくり拠点整備のための公有地の活用について ・拠点づくりのための山林区域の埋め立てについて 2 津久井地区の特性である自然環境の保全について ・ヤマビル対策について ・対策事業の充実・強化について	光 が 丘	1 光が丘地区の道路整備計画について ・県道相模原線相模原線の渋滞対策状況と幹線道路の整備方針について ・生活道路への車両流入について 2 児童・生徒への通学支援について ・市の施策の進捗状況について ・通学支援のあり方について	星 が 丘	1 うつ病をはじめとする精神疾患の方への対策について ・うつ病等の精神疾患の方に対する市の対応について ・うつ病等の精神疾患の方の把握及び支援について 2 子どもたちの遊び場の減少について ・広場等の整備の現状について ・広場整備の補助制度の創設について
橋 本	1 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて ・防犯カメラを活用した地域の安全対策について ・交通安全対策（自転車事故の減少）の推進について 2 橋本地区の次代を担う子どもたちの健全な育成について ・いじめ問題等の根絶に向けた取組みについて ・地域を担う人材の育成について	小 山	1 相模総合補給廠の返還と相模原駅周辺のまちづくりについて ・現在工事中の南北道路工事等に関して ・10ヘクタールのスポーツ・レクリエーションゾーンについて ・17ヘクタールの開発に関連して 2 宮下地区の道路整備における交通安全について ・都市計画道路の宮上横山線について ・県道相模原立川線の渋滞対策について	相 武 台	1 地域の拠点づくりと周辺インフラを視野に入れた地域の活性化 ・相武台まちづくりセンター・公民館の移転改修及び移転後の現施設の活用について ・相武台地区周辺のインフラ整備を踏まえた今後のまちづくりについて
麻 溝	1 地域コミュニティと市民協働の拠点となる麻溝まちづくりセンター・公民館の移転について ・麻溝まちづくりセンター・公民館の移転に係る市の考え ・公共施設の保全・利活用基本指針との関係 2 高齢者を中心とした災害時要援護者の支援について ・災害時要援護者に対する公助について ・災害時要援護者に関する地域の取組みについて ・避難所と地区内施設等（高齢者福祉施設、私立学校等）との連携について	大 野 北	1 子どもにも高齢者にもやさしいまちづくりについて ・あいさつの励行について ・高齢者の居場所づくりについて ・鹿沼公園の整備について 2 JAXAや大学等の地域資源と連携した地域の活性化について ・JAXA相模原キャンパスの玄関口である駅周辺におけるPRについて ・地域と行政の協働による情報発信について ・淵野辺駅の拡幅等について	大 野 南	1 高齢者の暮らしやすいまちづくりについて ・高齢社会を見据えたコミュニティバスの運行について ・神奈川中央交通バス「中和田循環」の路線拡張について ・福祉的輸送手段について ・企業の協力による買い物難民対策について
				上 溝	1 まちづくりの拠点整備について ・図書館について ・新駅と相模線の複線化について 2 高齢者の見守りと災害時の支援について ・高齢者の見守りについて ・災害時要援護者の避難支援について

皆で覚え備える 防災訓練

清新地区自治会連合会
会長 田代 明寛

東日本大震災から3年が経過しましたが、復興に向けた取り組みは、今もなお続いており、今後30年間のうちに発生する確率が70パーセントといわれる、首都直下地震が起これば、本市においても大きな被害を受けることが想定されます。

清新地区防災協議会では、「自分達のまちは自分達で守る」という自主防災意識の高揚と、地域防災体制の強化を図る活動と訓練を行っております。いつ何時に発生するかわ

新たに取組んだ災害時ボランティア受付訓練



判らない災害に備え、日頃から適切な判断力・行動力を身につけ、単位自主防災組織が相互に協力する実践的訓練を実施し、訓練に参加する人各々が身をもって体得していただくことを主眼としております。

当地区には3カ所の避難所が設定されておりまして、各々に避難所運営協議会を設け、施設の確認と使用の検討、備蓄品の確認、防災訓練内容の協議等活発に行っておりまして、防災訓練の内容も年々グレードアップしてきております。訓練は前日の夜間訓練、当日の訓練と2日に渡り実施し、必須訓練10項目、避難所ごとに考える項目と合わせて行っています。地域住民の助け合い支え合い活動は

勿論重要なひとつです。訓練の中で特筆したいと思えます。項目は、災害ボランティア活動の受け入れ訓練です。災害時ボランティア依頼の基本、そして救援から復興に至るまでのボランティアの方を受け入れる立場の人達の基本的心得の訓練・学びは、地域外からのボランティアの力をうまく引き出すことにつながり、復興を早めることにもなると思っています。

この様な活動は、防災に対する住民の意識が高いことと防災専門員、消防団そして担当の市職員の熱心さに助けられています。今後地域の皆様の安全安心のために、努めてまいります。

身の丈ボランティア 活動が自慢・横山

横山地区自治会連合会
会長 小林 茂裕

横山地区は、エリアとして山台1丁目・2丁目、小町通1丁目・2丁目、南橋本4丁目、中央区の下九沢、人口は約13,800人で中央区の中では最も人口の少ない地区です。戸建て住宅や企業の社宅、近年ではマンションの開発などもあり、横山公園や緑豊かな横山丘陵に隣接する閑静な住宅街です。歴史的に見れば他地区に比較すると新興住宅街といった地域でもありません。

横山は、身の丈に見合ったボランティア活動が盛んな地域であることを自負できる地域です。安全・安心ということでは、青パトの定期地区巡回活動や、近年立ち上げた活動団体「安全・安心よこやま」の年4回の安全・安心の日、地区を挙げてのぼり旗や横断幕を掲示する活動を展開しております。

また、福祉の推進ということでは地区社協の活動拠点として昨年12月に「コミュニティよこやま」を立ち上げました。



コミュニティよこやま

「コミュニティよこやま」を立ち上げました。サロン活動やボランティア団体の立上げも盛んです。さらに、地区全体のコミュニティということでは、夏のふるさとまつり(盆踊り)や年明けのどんと焼きも盛大に開催しております。



青パトによる定期地区巡回活動



安全・安心よこやま 横断幕

安全・安心よこやまのぼり旗

地域の誇りは 総合力

東林地区自治会連合会
会長 金子 匡甫

東林地区は、小田急線の小田急相模原駅・東林間駅、東急田園都市線の中央林間駅の3駅が生活圏内にあり、4万人以上が暮らす交通の便が大変よい街です。

しかし一方で、地区全体が住宅街ですので、観光地的な要素や大きな集客施設といったハード面での資源はほとんどありません。そのため、私たちの最大の財産は、人であり、人の力をいかにして発揮するかが一番の鍵であると思っております。



大事なことはみんなで決める

こうした地域性の中で、東林地区では、昔から、各団体が垣根を越えて交流する文化



ふるさとまつりでは女子大生が活躍(前列)

むかし 昔 No.51

光が丘の生いたち

光が丘地区

自治会連合会会長

平林 清

【なりたち】

光が丘地区周辺に、人が居住するようになったのは、昭和19年頃からです。それまでは、横山丘陵から上の段の地帯を相模野と呼び、水利に乏しく僅かに数町歩の耕地があるのみで、人の住んで居ない広大な山林原野で、牛馬の飼料とする草や、焚き木を取るために共



昭和20年頃の村富線を思わせる酷似風景

同で使用する場所、上溝村・下溝村の農民が使用し、人々はこの地区一帯を「上の原」と呼んでいました。当時を知る方によると昭和22年頃までの村富線(県道507号線)は、雑木林の中をリヤカー1台が通れる道で、牛車を連れて良く通った記憶があるとのこと。【土ぼこりと防風林】昭和21年に制定された自作農創設特別措置法により、当地区内の土地は、上溝の小作農家や入植の人達に売り渡され、雑木林は伐採され、鉄やシャベルによる人力のみで開墾され、主に麦・陸稲・さつま芋を栽培する農地となりました。しかし、平坦な土地と軽い土質のため、季節風が吹く頃には空

が赤く見えるほど土が舞い上がり、人々は土ぼこりに悩まされたので防風林が植えられました。昭和10年(17年頃)は田畑を耕したり荷物を運搬するために多くの馬が使われていました。当時その農耕馬を使って毎年草競馬が行わ



光が丘小学校付近の防風林とつむじ風



陽光台1丁目の馬頭観音

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせ

相模原市自治会連合会事務局

☎ 042-753-3419

E-mail:info@sagamihara-jichiren.jp

自治会報さがみはら編集

広報部委員

- 坂本 堯則 (相模台)
- 竹田 幹夫 (星が丘)
- 佐藤 あつ子 (相模台)
- 澤塚 正史 (相模湖)
- 細谷 一郎 (橋本)
- 落合 勝司 (津久井)
- 手塚 淳 (小山)
- 榎本 光男 (中央)
- 阿部 明博 (光が丘)
- 佐藤 重義 (大野中)
- 久保田 隼夫 (新磯)
- 嘉松 皓 (東林)